

令和2年度 大阪府医療的ケア児等コーディネーター配置状況調査結果まとめ

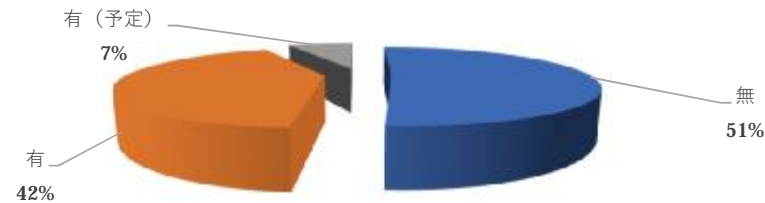
調査時期：令和2年10月～12月

調査対象：大阪府内43市町村（回答率100%）

調査方法：選択式及び記述式

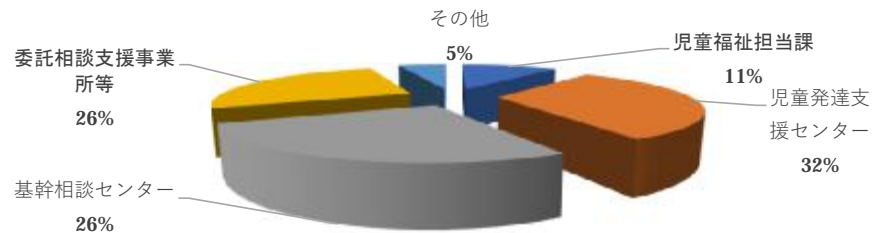
<地域生活支援課地域生活推進グループ>

1. 令和2年度末時点でのコーディネーター配置状況



- ・令和2年度末時点で21/43市町村にて配置。（研修修了は29/43市町）
- ・令和3年度には、34市町村にて配置済みの見込み。
- ・令和3年度時点において、9市町にて未定及び無回答。
未定と回答した市町のうち、自由回答に、
「コーディネーターの役割、位置づけの不明確が課題」とあり。
配置推進の課題として、「役割の明確化」に関する意見が計12市町あり
→令和3年度研修にて、実践報告を盛り込むことを検討。

2. コーディネーターの配置先及び職種



- ・配置先の52%（10/19市町※）が、相談支援事業所。うち事業所委託は100%（※令和2年度末配置21市町のうち、2市町は未回答）
- ・社会福祉士、相談支援専門員、介護福祉士、保育士等、福祉関係16名
- ・看護師、医師の医療関係は2名。
今後、10市町にて、看護師、保健師の配置を予定している。
→医療関係者に理解しやすい研修（とくに演習）を検討。

3. コーディネーターの活動状況

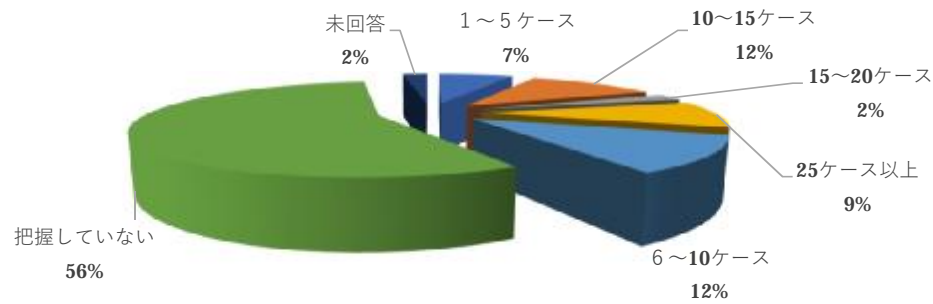


- ・協議の場に参加は15/21市町であり。
- ・個別ケースに直接支援、SVを実施した例は4市であり。

<課題（コーディネーター配置推進にかかる要望・課題に関する意見より）>
具体的な活動内容や好事例の紹介等の情報共有に関する意見 5市町
財源措置に関する意見 9市町
→既配置のコーディネーターに対して、情報共有や協議を行う場の検討。
地域生活支援促進事業の国庫補助等に関する情報提供を実施。

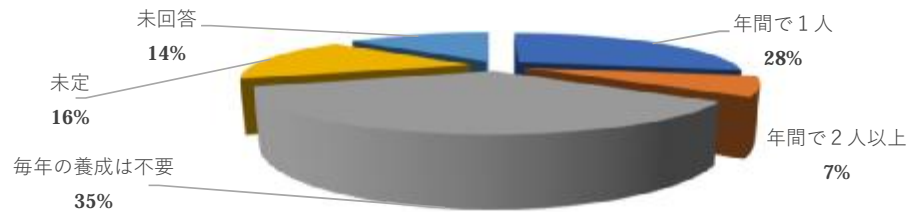
令和2年度 大阪府医療的ケア児等コーディネーター配置状況調査結果まとめ

4. 各市町村における医療的ケア児ケース数の把握状況



医療的ケア児のケース数を把握していないと回答した市町村は43件中、24件あり、半数を超えている。また、そのうち、人口20万人を超える市は7件ある。
→コーディネーターの推進にあたっては、各市町村でのケース把握が必要。

5. 令和4年度以降のコーディネーター養成希望



- ・「1人」12市町 「2人以上」3市
- ・「毎年は不要」15市町 「未定」7市町 「未回答」6市町
- ・令和元年度のコーディネーター研修修了者が異動したことにより、改めての養成が必要になった、との意見あり。

→養成のニーズについて、医療的ケア児数の調査の動向を注視しながら、配置先等を勘察し、精査していくことが必要。

6. まとめ

- 継続した人材養成
- 研修における役割の明確化や実践事例の情報提供などによるイメージの具体化
- 広域的な観点からの情報共有（先行事例等の共有など）・フォローアップの実施